

# 雨山



(ハイライトシーン)

※弥生班 計11名

[ 実施日--2026年03月10日(火) ]

① (東ハイキングコース登山口)



② (第一展望台)



④ (西ハイキングコースの急登箇所)



③ (西ハイキングコース登山口)



⑥ (雨山の山頂)



⑤ (月見亭)



# 雨 山 (312m)

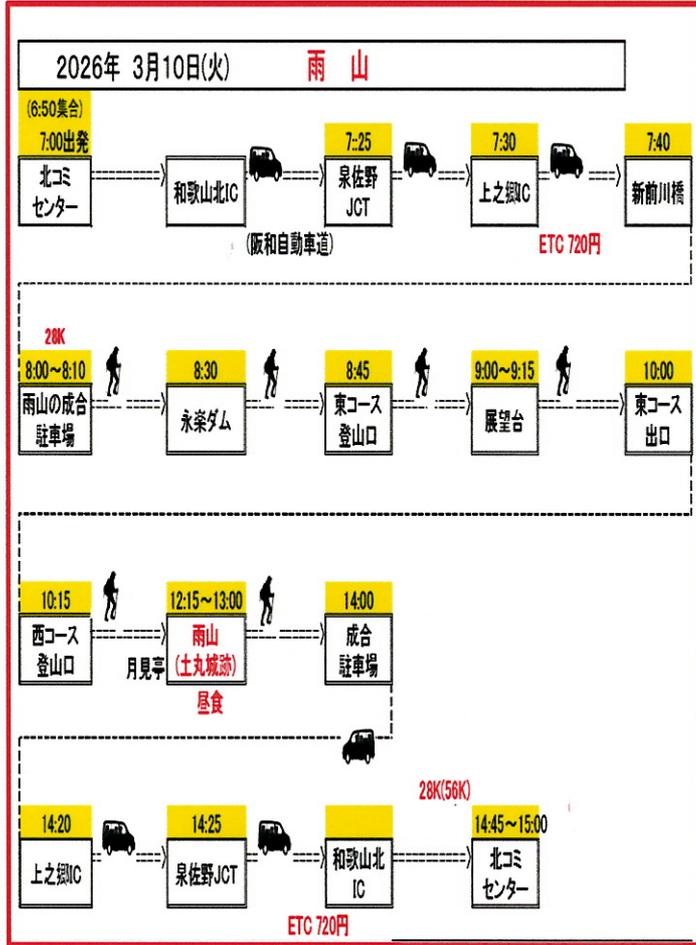
# 紀 峰 山 の 会 (弥生班)

※(山行日) ---- 2026年3月10日(火)

(メンバー) -----計11名

木村、中濱、山本、八木、大野、新延、  
大塚、岩見、五所尾、 大森、有本

※(行 程) [予定]



※[はじめに]

(雨山----あめやま)

- 雨山は、その名の通り雨乞いの山として古くから信仰を集めてきた山である。
- 永楽ダム及びその周辺の広大な森林を含む公園には、和泉葛城山、大阪湾や関西国際空港などを眺めることができる2箇所の展望台があり、多種多様なハイキングコースがあります。

(写真1)

(準備体操)



- 本日は11名参加。車2台で北コミ7時出発、現地に8時到着し、恒例の和歌山弁のラジオ体操で身体を解す。

(雨山のロードマップ)



(写真2)

(東ハイキングコース登山口)



- 駐車場から15分で登山口へ。

(写真3) (第一展望台)



- ・ 8時50分、展望台に到着。風が強く冷たい。  
5分程度の休憩で直ぐに出発。

(写真6) (月見亭)



- ・ 11時、予定より早く月見亭に到着。

(写真4) (西ハイキングコース登山口)



- ・ 東コースから西コースへの周回コースを進む。

(写真7) (月見亭から見た眺望)



(写真8) (雨山の山頂-その1)



- ・ 泉南、関空をバックに---  
ここも風が強く冷たい

(写真5) (西コースの急登箇所)



(写真9)

(雨山の山頂-その2)



・寒いですが天気良く、視界良好。

(写真10)

(ランチタイム)



・山頂の小屋で昼食。  
各自が持ち寄ったお菓子の物々交換と楽しい会話で花が咲く。

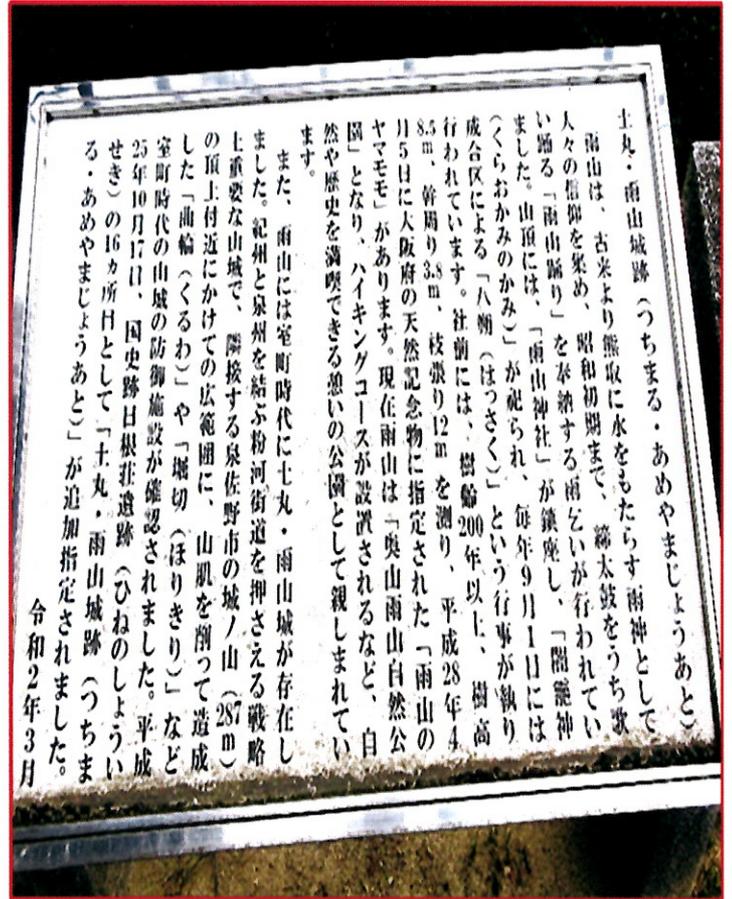
(写真11)

(土丸・雨山城跡)



(写真12)

(土丸・雨山城跡の解説)



※[最後に]

- 11名の参加。脚力に幅があったが時間の余裕ある計画であった為、足並みが思いのほか揃い、スムーズな山行ができました。
- 厳しいアップダウンがあるが、近年、整備されて登りやすくなっており、稜線沿いの登山道は周辺の山を360度見渡せる。低山ながらも眺望の良さは抜群である。
- 「名称・雨山」は、室町時代に土丸・雨山城が存在し、山城かと想像。  
雨乞いの山として古くから信仰を集め、生活に密着した美しい山であり、歴史的にも有名とのことで、熊取町の指定文化財となっている
- 頂上には大阪府の天然記念物に指定されている樹齢200年以上、樹高8.5mの「雨山のヤマモモ」がある。
- 山頂では風が強く冷たい環境であったが、天気が良く晴れ渡り、泉南の眺望とたっぷりの昼食時間で楽しい山行でした。